

6～7月上旬の農作業

日々暑さが増します。体調管理に気を配りつつ適期作業に努めてください。

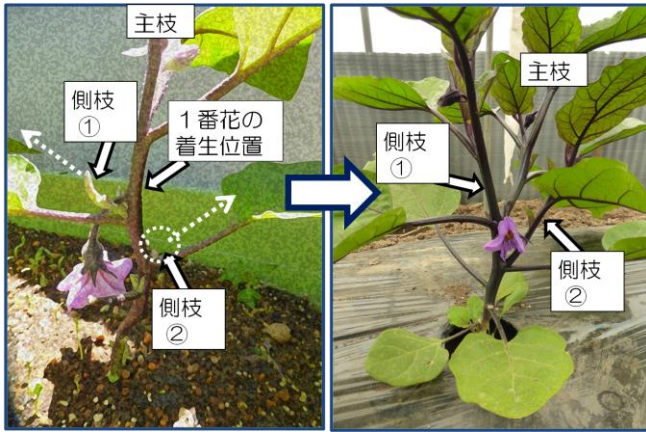
種まき	作業のポイント													
葉菜類 ・ホウレンソウ （晩抽性のもの） ・コマツナ ・チンゲン菜 ・葉ネギ 果菜類 ・モロヘイヤ ・スイートコーン 根菜類 ・ダイコン ・カブ など	① トマトの受粉管理について 大玉トマト収量は、株の一番下に着花する第1花房を受粉させることがつるボケを防ぎ、収量を増加させるカギです。適宜、人工授粉を活用しましょう。 ～人工受粉の方法～ 1) トマトトーンの利用 5～6日に1度は畑を見回り、開花している花へ処理を行いましょう。 低温期（20℃以下）・・・50倍希釈 高温期（20℃以上）・・・100倍希釈 トマトトーンの誤った使い方による果実等へのトラブル													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発生する障害等</th> <th>障害の発生防止対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼葉等への散布</td> <td>糸葉、縮葉の発生</td> <td>なるべく花房にのみ散布</td> </tr> <tr> <td>高濃度散布</td> <td>空洞果、乱形果発生による 秀品率の低下</td> <td>散布時期の気温に合わせ、 決められた濃度で散布</td> </tr> <tr> <td>同じ花への 重複散布</td> <td>空洞果、乱形果発生による 秀品率の低下</td> <td>同じ花へ二度がけしない。 支柱に目印のクリップをする などマーキングをする。</td> </tr> </tbody> </table>		発生する障害等	障害の発生防止対策	幼葉等への散布	糸葉、縮葉の発生	なるべく花房にのみ散布	高濃度散布	空洞果、乱形果発生による 秀品率の低下	散布時期の気温に合わせ、 決められた濃度で散布	同じ花への 重複散布	空洞果、乱形果発生による 秀品率の低下	同じ花へ二度がけしない。 支柱に目印のクリップをする などマーキングをする。
	発生する障害等	障害の発生防止対策												
幼葉等への散布	糸葉、縮葉の発生	なるべく花房にのみ散布												
高濃度散布	空洞果、乱形果発生による 秀品率の低下	散布時期の気温に合わせ、 決められた濃度で散布												
同じ花への 重複散布	空洞果、乱形果発生による 秀品率の低下	同じ花へ二度がけしない。 支柱に目印のクリップをする などマーキングをする。												
・サツマイモ ・青シソ ・ニラ など	2) 振動受粉 花房をゆすって受粉を行わせます。トマトトーン処理に比べてゼリー部分が発達し、酸やビタミンC含量の多い、濃厚な味の果実との報告もあります。													
収穫 ・タマネギ ・ニンニク ・シュンギク ・ピーマン ・キュウリ ・トマト ・ニラ など	② アブラムシやハダニなど害虫の発生に注意しましょう！ 気温が上昇すると、害虫の発生が増えます。作物の管理を行う際は葉の裏や新芽、花などをよく観察しましょう。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>良く見られる症状・対策など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブラムシ</td> <td>ウイルス病を伝搬します。おもに薬剤散布により対処します。</td> </tr> <tr> <td>ハダニ</td> <td>乾燥が続くと発生します。葉裏の刺されたような跡が特徴です。 乾燥させないようにこまめに水やりを行います。</td> </tr> </tbody> </table> 発生初期に害虫防除を開始できれば、農薬代の節約や散布労力の軽減、環境への負荷の低減にもつながります。適期防除でよりより農業の実践（GAP）に取り組みましょう！			良く見られる症状・対策など	アブラムシ	ウイルス病を伝搬します。おもに薬剤散布により対処します。	ハダニ	乾燥が続くと発生します。葉裏の刺されたような跡が特徴です。 乾燥させないようにこまめに水やりを行います。						
	良く見られる症状・対策など													
アブラムシ	ウイルス病を伝搬します。おもに薬剤散布により対処します。													
ハダニ	乾燥が続くと発生します。葉裏の刺されたような跡が特徴です。 乾燥させないようにこまめに水やりを行います。													

農作物の管理法～露地ナス編～

今月は、ナスの3本仕立てを中心に露地ナスの栽培ポイントを紹介します。

<仕立て方法（3本仕立て）>

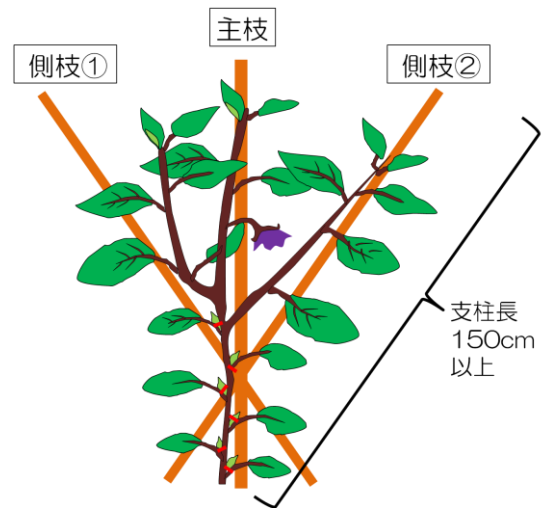
3本仕立てでは、下の図のように主枝と主枝の第1花（一番下の花）のすぐ下の側枝①（わき芽）、③その下の側枝②の2本を伸ばします。



側枝②より下のわき芽については放任せず、大きくなる前にかき取ります。

<本支柱立て>

本支柱は150cm以上のイボ竹などを下図のように組み、3本が交差する箇所を麻ひもなどで縛り固定します。



<管理作業>

① 株の栄養状態のチェック

ナスは収穫に多くの肥料を必要とします。土壌中に肥料分が十分あるかどうかは花の形態から判断することができます。一般的に追肥は、2番果収穫はじめから2週間に1度行いますが、花の形態も参考に施肥時期や量など加減して下さい。

ア) 栄養状態が良い花 イ) 栄養状態悪い花



栄養状態が良い株の花（写真左）は、雌しべが雄しべより長くなります。雄しべの間から雌しべが見えない花（写真右）があるときは肥料が不足している証拠です。**この状態では花が咲いても結実しないこともあります。**

② 整枝・摘葉

整枝・摘葉には次の効果があります。

○果実の着色が良くなる

⇒ 果実に日光が当たることで、きれいな紫色となります。込み合った枝や果実にかかっている葉を除去しましょう。

③ かん水

ナスは乾燥に弱く、水分が不足するとナス表面に光沢がない「つやなし果」の発生が増えます。また、乾燥状態が続くとハダニの害などが出やすくなります。

以下の方法で乾燥を防ぎましょう。

ア) 敷きワラ

敷きワラなどで土壌水分の蒸発を抑えます。

イ) かん水

晴天が続く場合や雨の量が少ないときは、かん水を行います。**少量の水を数回に分けて与えましょう。**

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（小林（裕））

電話番号：0268-25-7156（直通）FAX：0268-23-2161